令和６年度「くまナビ評価問題」中学校英語　第２学年　標準解答一覧

※　上記以外にも学校での指導の実態に応じて、正答とすることも考えられます。

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 〈正答例〉　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　【知・技】  ・How about going to ABC Aquarium? We can go there in the morning on Sunday.  ・We can to ABC Aquarium. On Sunday it opens in the morning. Let’s go together.  〈正答条件〉  ➀　オリビアの発話の条件（１土曜日は終日母親を手伝わなければならない、　２日曜日の午後は妹のお世話をする必要がある）を聞き取り、その条件に合う施設の絵を選ぶ。  ②　オリビアの発話に対して、How about～？We should～. Why don’t we～？などを使って行くことができる水族館を提案し、その理由（水族館は日曜日の午前中も開館している）を伝える。  《定着に向けた手立て》  ◆オリビアの発話を聞きとり水族館を選ぶことができているものの、条件②にあるその理由を伝えず答えている  ・Let’s go to ABC Aquarium.  ・ABC Aquarium is good.  ⇒会話の目的・場面・状況等を理解させた上で、オリビアの発話の条件を聞き取り、その理由を付け加えることに気付かせ指導をする。さらに、ヒントとなる事柄や曜日を聞き取り、理由を付け加えるように促す。  ◆Are there any good places to visit?　の質問に対して、Yesで答えている。  ・Yes, there are.  ⇒Are there any good places to visit?　の質問に対して、Yesで答えることは可能であるが、オリビアの意見を述べる場面、状況を踏まえ、そのあと、その質問に対する説明を行う必要があることを押さえる。small talkにおいてDo you like ～?と尋ねられて、Yes, I do. No, I don’t.のみで答えるのではなく、理由をプラスして答えることを促す。 |

令和６年度「くまナビ評価問題」中学校英語　第２学年　標準解答一覧

|  |  |
| --- | --- |
| ２ | 〈正答例〉　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　【思・判・表】  ・Hello, I’m . I live in .  ・My town has a very big bridge. We call it Tsujunkyo. Many people come to my town to see this bridge because you can see very beautiful water from the bridge. I think you can take many pictures there. There are many posts on SNS. You can enjoy walking there. Please check it out.  ・There are some beautiful beaches in my town. Mogushi beach is really famous. The sunset is so beautiful. I think it’s the best place to take pictures. You can also enjoy fishing there. Please visit someday.  〈正答条件〉  ➀　話し手（留学生）の発話に対して、自分の町の写真スポットについて伝えている。  ②　➀について相手に分かりやすいように、（自分の町について）具体的に説明している。  ≪定着に向けた手立て≫  ◆主語に対して動詞の欠落等があり、また文法事項等の誤りがある。  ・My town is a very big bridge. We call it Tsujunkyo. You can take many pictures there. There many posts on SNS. Please check.  ・There is some beautiful beaches in my town. Mogushi beach is really famous. The sunset so beautiful. I think it’s the best place to take pictures. Please visit someday.  ⇒　評価を行った後に、自身の発話を書かせたり、録音を確認したりして自己の発話を振り返らせる。その後、個人や学級全体でどのように改善できるかを考えさせる場を設け、文法上の規則等を確認し、異なった目的・場面・状況で再度挑戦させる。 |

※　上記以外にも学校での指導の実態に応じて、正答とすることも考えられます。